

内職仕事でも、 平均工賃 九万七〇〇〇円

シール貼りや箱折りは、内職仕事と呼ばれる。単価は、一つ何銭の世界。低賃金の代表的な仕事と思っていたが、なんと、そんな作業でA型事業所(※1)を運営している法人が熊本にあった。NPO法人 菜。

一〇人の障害者を雇用して、平均工賃月額

九万七七八円(二〇一四年度)(※2)。

「減額特例(※3)をするなら、

A型をやる資格がない」とまで、

代表の蔵座弘志さんは言い切った。

いいんですか、

多くのA型事業所を敵に回しますよ。



代表の蔵座弘志さん

何銭の積み重ねの仕事

「おはようございます」。

事務所のドアを開けると、晴れた空の戸外よりまぶしく感じた。作業中の障害者が顔を上げ、「おはよう、ございます」と返ってきた。ファストフードの挨拶と違って、不ぞろいのトーンが心地いい。

手前の部屋では、くまモンのイラスト入りのビニール袋にシールを貼っていた。奥の部屋では、六人が向かい合って、リズムカルに包装作業。商品が大きな花びらのように包まれていく。一秒単位で出来上がる。そのテーブルの横では、二人の青年が、ときばきと紙箱を組み立てていた。作業所内には、福祉



施設で見慣れた注意書きや貼り紙がない。作業中なのに、紙くずやチリも落ちていない。資材の梱包を解いたその手で出たゴミの始末をしている。「ゴミが気にならない人間が納品物のミスに気付くはずがない、と口うるさく言っています」と、蔵座さん。なるほど、プロの料理人も調理と片づけを同時に進めている。「商品だけでなく、ダンボールの空き箱もきれいに並んでいる。こういうところなら安心できる、と言ってもらって、仕事につながる人が多い。プロはプロを知る。

でも、いくら作業効率を高めても、内職仕事。減額特例を一人も使わず

に、平均時給七五五円をどうして出せるのか。熊本の最低時給は六九四円なのに。「その秘策を聞きたい。できれば、『秘策七カ条』のタイトルをつけて紹介したい」と取材にかかると、「困ったなあ。そんな秘策なんて特別なことはありませんよ」と蔵座さんは笑った。謙遜ではない。肩透かしを食って、仕方なく笑い返した。

「確かに内職仕事でも、よそよりは単価のいい仕事をもたらしています。いま、奥の部屋でやっているのは、デコボンゼリーの包装です。これは最上の部類です。ビニール袋の裏表にくまモンのシールを貼る作業は、同業のところと